

平成19年度シラバス

| 教科名 | 科目名 | 履修学年 | 区分 | 単位数 |
|------|-----|------|--------|-----|
| 地理歴史 | 地理B | 2年 | 文型選択必修 | 3単位 |

1 学習の到達目標等

| | |
|------------|--|
| 学習の到達目標 | 世界の人々の生活・文化に関する地域的特色とその動向を自然環境・社会環境と関連付けて理解させ、多面的に考察させる事によって、地理的な見方・考え方を育成する。 |
| 使用教科書・副教材等 | 『新詳地理B 初訂版』(帝国書院) 『最新地理図表GEO』(第一学習社) 『新詳高等地図 初訂版』(帝国書院) |
| 授業方法・授業形態 | 教科書・教科書に即したプリント・補助教材を用いて、現代と地域・人間と環境について解説していく。 地図帳や資料集を利用しながら現代と地域・人間と環境についてまとめ、人間の生活との関係などの視点から理解していく。 地形図の読図などの作業を組み込み、地理的技能を身につける。 |
| 備考 | |

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 活動の特記事項他 |
|------|--|---------------|---|--------------------------|
| 第1学期 | グローバル化する現代世界 地形図の利用 地図でとらえる現代世界 グローバルに結びつく現代世界 世界を結ぶ交通・通信 現代世界の国家と国家群 自然環境と生活 生活の舞台としての地形 世界の地形環境 | 4月 ↓ 7月 | 地図に関する基本的な事柄について 地図のなかでも地形図の活用に関連付けて理解する。 交通機関の特徴と役割について人間生活に関連付けて理解する。 国の位置と国境の機能について国際関係に関連付けて理解する。 地形に関する基本的な事柄を理解するとともに、地形形成の要因・形態・プロセス・分布と特色について、人間生活に関連付けて理解する。 | 地図などを用いた作業やビデオ視聴などを組み込む。 |
| | 【課題・提出物等】 授業プリントを提出する。 | | | |
| | 【第1学期の評価方法】 地図・交通・地形に関する基本的事項を理解しているか、地図に表現するなどの地理的技能がしっかりと身に付いているか、交通・国家の領域・地形環境などの事象と人間生活との関連を説明できるかを、定期テストや授業プリント・作業などの提出物、授業中の学習意欲・発言などを総合して評価する。 | | | |

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 活動の特記事項他 |
|------|--|----------------|---|--------------------------|
| 第2学期 | 自然環境と生活 世界の地形環境 外的営力によりつくられる地形 気候と生活 世界の気候 気候の成り立ち 世界の気候区分 各気候区の特徴と人々の生活 日本の自然の特徴と人々の生活 | 8月 ↓ 12月 | 地形に関する基本的事項を理解するとともに、地形形成の要因・形態・プロセス・分布と特色について人間生活に関連付けて理解する。 気候要素の意味を理解し、気温、降水量、風などの要素が各地域の気候や人間生活の特色にどのように反映されているか理解する。 各気候区や土壌帯・植生などの特徴について、人間生活に関連付けて理解する。 気候区分の方法を理解する。 | 地図などを用いた作業やビデオ視聴などを組み込む。 |
| | 【課題・提出物等】 授業プリントを提出する。 | | | |
| 第2学期 | 【第2学期の評価方法】 地形・気候に関する基本的事項を理解しているか、気候の分布などを地図に表現するなどの地理的スキルがしっかりと身に付いているか、地形・気候環境の事象と人間生活との関連を説明できるか、実際に気候区分を行うことができるかを、定期テストや授業プリント・作業などの提出物、授業中の学習意欲・発言などを総合して評価する。 | | | |

| 学期 | 学習内容 | 月 | 学習のねらい | 活動の特記事項他 |
|------|--|---------------|--|--------------------------|
| 第3学期 | 人口・食料問題 人口・食料問題への取り組み 都市・居住問題 世界の都市・居住問題 さまざまな都市問題 環境・エネルギー問題 世界の環境・エネルギー問題 さまざまな環境・エネルギー問題 解決への取り組み 日本の環境・エネルギー問題 | 1月 ↓ 3月 | 人口問題に関する基本的な事項を理解するとともに、世界の人口の増加・分布・動態などを地球的規模から把握し、それぞれの国の人口問題に関連付けて理解する。 都市問題に関する基本的事項を理解するとともに、世界の都市問題を地球的規模から把握し、それぞれの国の生活に関連付けて理解する。 環境問題に関する基本的事項を理解するとともに、世界の環境問題を地球的規模から把握し、それぞれの国の人間生活に関連付けて理解する。 | 地図などを用いた作業やビデオ視聴などを組み込む。 |
| | 【課題・提出物等】 授業プリントを提出する。 | | | |
| 第3学期 | 【第3学期の評価方法】 人口問題、都市問題、環境問題に関する基本的事項を理解しているか、人口・都市・環境のそれぞれの問題について地図に表現するなどの地理的スキルがしっかりと身に付いているか、人口問題、都市問題、環境問題などの事象と人間生活との関連を説明できるかを、定期テストや授業プリント・作業などの提出物、授業中の学習意欲・発言などを総合して評価する。 | | | |

【年間の学習状況の評価方法】
5回の定期テストの結果を中心に、提出物、作業プリントの取り組み、授業に対する姿勢などを総合的に評価する。

| | |
|---------------------|--|
| 確かな学力を身に付けるためのアドバイス | <ul style="list-style-type: none"> ・地理の勉強に地図は欠かせないので、新しく出てきた地名などは地図帳にマークして位置を確認しておくこと。 ・授業に集中すること。 ・授業で配付するプリントには板書以外のことも書くように心がけること。 ・地理で学習する内容は、新聞やテレビ番組などにも関連する事項が多々出てくるので興味を持って見ること。 |
| 授業を受けるに当たって守ってほしい事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・授業道具を必ず持参すること(特に地図帳・図表)。 ・授業プリントは必ずファイルにとじておくこと(ノートに貼ることも可)。 ・移動教室が多いので、授業開始時間に遅れないように早めに行動すること。 ・プリントや地図帳にマークするためのマーカー、ペンなどを用意すること。 |

(2) 評価規準及び評価の観点

単に知識量のみを評価するのではなく、身につけた知識を関連づけてさまざまな事象について思考・判断する地理的な見方・考え方が身に付いているかどうか、作業などを通して地理的スキルが身に付いているか確認する。さらに定期考査および提出物、授業に対する姿勢などを合わせて総合的に評価する。

3 担当者からのメッセージ

地理という科目には政治・経済・宗教・歴史などいろいろなものが関係しています。だから、なにごとにも「視野を広く」もって学ぶことが大切だと思います。また、地理は、教養としても社会に出て役に立つ科目です。楽しく、そしてしっかりと、さまざまなことに興味を持って勉強していきましょう。